

〈第40回〉 力合小校区 島町子ども会(2) 「卒業生お別れ会」

育成会会長 立花 恵香

令和4年3月13日(日) 10:30~12:00 島町屋敷公園・島町公民館で「卒業生お別れ会」《ドッチボール》を行いました。

事前に「お知らせ」を配布して参加・不参加の確認を取りました。コロナ禍の中ですので不安がある方は欠席してもよいとして、自由参加としました。

感染リスクを減らせるように、参加者は、全員マスクを着用し、イベント開始前に全員アルコールによる手指の消毒をしてもらいました。



まず、コート作り



↑ 上級生が投げるボールは怖いようにすごかった ↓



上級生・下級生一緒になって楽しい一時でした

6年男子 : 普段学校では関わりのない学年の子たちと1つのチームになって勝つということをも目標にがんばり、楽しい時間を過ごせました。

1年女子 : 上の学年が投げるボールはこわいけど、楽しかったです。





会長という職を2年間努めさせていただきましたが、ちょうどコロナ禍に突入し、これまでの行事等ができず、何をどうしたらよいのか常に手探りでした。できないことを嘆いても仕方がないので、役員さんとの連絡を密にし、できる時期にできる範囲のことをして子どもたちを楽しませたい。ただそれだけでした。

最初は全くこれまで関わったことのない子ども会でしたが、普段よく見かける子どもたちの楽しそうな姿を目の当たりにし、本当に楽しい時間を子どもたちと共有できたことは私自身の財産になったと思っています。

今まで協力して下さった役員、保護者の皆様、本当に有り難うございました。

役員になることは負担になりますが、それ以上に得るものは大きいです。誰かがこれまで担ってくれていた、今度は自分が！と思ったださる方が少しで増えてくれることを願っています。

《 事務局から 》

事務局長 白石和典

- ① コロナ禍における楽しい行事の写真・報告、そして、会長様が今まで子ども会に関わってこられての率直な気持ちを寄せてくださり大変有り難うございました。
- ② 今まで一緒に活動してきた6年生ともお別れですが、最後に皆が楽しめる行事ができて良かったですね。6年生の言葉に「普段学校では関わりのない学年の子たちと1つのチームになって…」とありますが、正に、「異年齢集団の良さ」が現れた素晴らしい活動だったと思います。1年生は上級生の投げるボールが怖かったようですが、心の中では「上級生はすごいな、自分もいつかそうになりたいな」と畏敬の念を持ったことと思います。活動を通して、上級生・下級生がそれぞれの立場で何かを感じる事が、子ども会活動の良さだと思います。
- ③ 会長様はじめ役員の皆様の、子どもたちへかける愛情の深さが、会長様の感想を見てあらためて分かりました。「楽しい時間を子どもたちと共有できたことは私自身の財産…」という言葉は子ども会活動で子どものためにと一生懸命に関わってこられたからこそ出る言葉だと思います。
本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。島町子ども会の益々の発展と子ども達の健やかな成長をお祈りいたします。